

☆ 世 界

綿 花 消費拡大・生産減少の見通し---2018/19年

国際綿花諮問委員会(ICAC)によると、2018/19年の世界の綿花市場は、消費が拡大する一方で、生産は減少すると見られる。生産は、2,570万トと予想され、僅かに消費(2,540万ト)を上回る見通しである。

過去3期にわたり着実に増加してきた世界の綿花消費は、今後も引き続き増加する見込みで、2017/18年に前年比3.6%増、2018/19年に同4.4%増と予想されている。とりわけ新興市場における需要が堅調であることが、綿花市場への追い風となっているほか、競合する合成繊維の生産コストの上昇、綿花市場を支える要因となっている。

ただし、害虫の脅威や悪天候が引き続き懸念材料として挙げられる。今期、世界最大の綿花生産国であるインドは、害虫の発生によりイールドが低下し、2018/19年の作付面積は120万ヘクタールに減少する見通しである。世界最大の綿花輸出国である米国の2018/19年の作付面積は490万ヘクタールまで拡大すると予想されているものの、米国およびオーストラリアに関しては干ばつの状況を注意深く監視する必要がある。

2018/19年の世界の期末在庫は、前年比1.5%増の910万トとなる予想。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2015/16	2016/17	2017/18
生産	23.09	25.67	25.35
消費	24.52	25.40	26.52
輸入	8.14	8.54	9.14
輸出	8.19	8.54	9.14
期末在庫	18.83	19.10	17.93
価格*	83	83*	84*

*Cotlook A インデックス(セント/ポント)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。